

主な研究業績

種類	著書/論文/論題名	掲載誌巻号/ 発行者/学会名	発表 年月	備考/ 執筆ページ
著書				
共著	蓮田善明論 戦時下の国文学者と〈知〉の行方	翰林書房	2017年9月	「蓮田善明と「古事記」—時代の中の「古事記」・蓮田の中の「古事記」」 pp107-135
共著	女性・ことば・表象—ジェンダー論の地平	大阪教育図書	2017年9月	「女に小説は書けるか—芥川龍之介「秋」に於ける女性表象—」 pp47-84
共著	芥川龍之介と切支丹物—多声・交差・越境	翰林書房	2014年4月	「『舞踏会』—明治の馬車・大正の汽車」 pp52-63
共著	生誕120年 芥川龍之介	翰林書房	2012年12月	「表現・文体の創造」 pp91-101
共著	『大衆文学の領域』	大衆文化研究会	2005年6月	「民と兵隊—棟田博『分隊長の手記』と兵隊小説ブーム」 (pp243~260)
論文				
単著	「ジャン・クリストフ」と芥川龍之介（一）	『熊本県立大学大学院 文学研究科論集』第14号	2021年9月	26-51
単著	芥川龍之介の故郷&異郷	『芥川龍之介研究』第14号	2020年7月	pp43~56
単著	室生犀星編『芥川龍之介読本』（昭和十一〔一九三六〕年刊）：思い出から文学史へ（昭和一〇年代の芥川龍之介）	『近代文学合同研究会論集』第13号／近代文学合同研究会	2017年2月	52-85
単著	「「あの頃の自分の事」論」	『藝文研究』第109号第一分冊	2015年12月	pp217-234
単著	龍が昇るはなし—芥川龍之介「龍」の典拠と〈物語〉構造—	日本文学協会『日本文学』第62巻第6号	2013年6月	pp11-22
単著	関東大震災—芥川龍之介と東京・両国—	『東京都江戸東京博物館紀要』第3号	2013年3月	pp161-169
単著	「羅生門」論—「猿」と人間、そして語り手—	熊本県立大学『国文研究』第五十六号	2011年6月	pp33-53
単著	「路上」論—索引のついたテキスト—	『芥川龍之介研究』第4号	2010年4月	pp10-22
単著	「高等学校で行う文系演習授業の課題と可能性—2009年度 三年自由選択科目「近・現代文学」授業報告—	『慶應義塾志木高等学校研究紀要』40	2010年4月	pp39~60
単著	「表現・構造から考える「趣味の遺伝」—戦争への想像力と慰問者・慰霊者としての語り手「余」—	三田國文の会『三田國文』第48号	2009年2月	pp62~74

単著	「『となり町戦争』論ノート——豊かで偏頗な「僕」の想像力」	近代文学合同研究会『近代文学合同研究会論集』第5号（想像力がつくる〈戦争〉／〈戦争〉がつくる想像力）	2008年12月	pp92～105
単著	「映画を用いた演習型授業の試み 附「真夜中のカーボーイ」論」	『慶應義塾志木高等学校研究紀要』38	2008年6月	pp1～30
単著	「文学展示に人は何を求めているのか、或いは「文芸評論家」展の成立する理由——「奥野健男」展を観て考えたこと——」	近代文学合同研究会『近代文学合同研究会論集』第4号（展示される文学——人・モノ・記憶）	2007年10月	pp62～68
単著	「講談社刊行、陸軍雑誌『若桜』——改題及び内容総覧（総目次）——」	三田國文の会『三田國文』第45号	2007年9月	pp93～111
単著	「対米開戦前夜の『少年倶楽部』と読者たち」	近代文学合同研究会『近代文学合同研究会論集』第3号（〈講談社〉ネットワークと読者）	2006年12月	pp2～28
単著	「『西郷隆盛』論——見ることと記憶・認識の揺らぎ——」	日本近代文学会『日本近代文学』第75集	2006年11月	pp61～74
単著	「漫画（手塚治虫「ブラック・ジャック」）を用いた演習型授業の試み——二〇〇五年度「国語表現」授業報告——」	『慶應義塾志木高等学校研究紀要』36	2006年8月	pp35～70
単著	「赤川武助『僕の戦場日記』論——手続き（プロセス）としての『宣撫』——」	三田國文の会『三田國文』第43号	2006年6月	pp1～14
単著	「芥川作品と献辞——『窓』『子供の病氣』『梅花に対する感情』その他——」	近代文学合同研究会『近代文学合同研究会論集』第2号（手紙としての物語）	2005年10月	pp20～33
単著	「作者への手紙／作者からの〈手紙〉——手塚治虫「ブラック・ジャック」におけるメタ＝フィクション——」	近代文学合同研究会『近代文学合同研究会論集』第2号（手紙としての物語）	2005年10月	pp82～86
単著	「『アグニの神』論——「運命の力」は誰に示されたか——」	三田國文の会『三田國文』第41号	2005年6月	pp1～10
単著	「講談社的〈作家権〉ビジネスの模様——野間文芸奨励賞とその周辺——」	近代文学合同研究会『近代文学合同研究会論集』第1号（新人賞・可視化される〈作家権〉）	2004年10月	pp77～95
単著	「左様なら。お君さん。——芥川龍之介「葱」と通俗小説——」	日本近代文学会『日本近代文学』第69集	2003年10月	pp123～137
単著	「〈妻〉の「一念」——「われから」における妻の位置——」	三田國文の会『三田國文』第34号	2001年9月	pp44～55
単著	「『生』の人々——〈家庭〉生成の過程——」	慶應義塾大学藝文学会『藝文研究』第79号	2000年12月	pp24～42
単著	「講談社・大正九年——『雄弁』の誌面（再）改革と『現代』創刊——」	三田國文の会『三田國文』第32号	2000年9月	pp34～42
単著	「『南京の基督』論——〈物語〉と語り手——」	日本近代文学会『日本近代文学』第62集	2000年5月	pp57～69
学会発表				
単著	「芥川龍之介の故郷&異郷」	国際芥川龍之介ISAS学会 第14回（長崎）大会 於 長崎市立図書館	2019年8月	パネル発表「芥川文学の〈中心〉と〈周縁〉」のうち
単著	「〈怪異〉をいかに語るか—「二つの手紙」「妖婆」に見る〈現代物〉への途—」	第9回 国際芥川龍之介学会	2014年8月	於 リュブリャナ大学（スロヴェニア）
単著	「大正八年、「私」（芥川）は何に出遭ったか」	2013年度日本近代文学会九州支部秋季大会	2013年12月	於 佐賀女子短期大学

単著	芥川龍之介中期作品における語り／騙りの構造——「龍」を例に——	第六十一回 西日本国語国文学会	2011年9月	於 筑紫女学園大学
単著	「『羅生門』を読む」	熊本国語国文学会	2010年12月	於 熊本県立大学
単著	「『路上』論—索引のついたテキスト—」	国際芥川龍之介学会 第4回大会	2009年9月	於 ローマ大学サピエンザ校
単著	「芥川龍之介と『妖婆』の関係」	日本近代文学会 2001年度春季大会	2001年5月	於 学習院大学
辞典				
共編	『芥川龍之介ハンドブック』	鼎書房	2015年4月	「作品論の窓」 編編輯と複数項目執筆
その他				
単著	国際芥川龍之介学会 I S A S 二〇二〇年三月研究集会 印象記	「国際芥川龍之介学会 ISAS」ホームページ	2020年3月	
単著	【大学教員による読書感想文】有川浩『図書館戦争』の現実性	『文彩』16号／熊本県立大学文学部	2020年3月	14-19
単著	近代作家の／と読む上田秋成?—「雨月物語」	熊本県立大学文学部『文彩』第十一号	2015年3月	27-37
単著	芥川龍之介作品における女性表象（並びに彼の恋愛・結婚観の一面）	熊本県立大学文学部『文彩』第十号	2014年3月	pp47-56
単著	芥川龍之介「舞踏会」論のために——文献一覧	近代文学合同研究会論集第10号『10号記念 自由論文特集』	2013年12月	pp132-144
単著	芥川龍之介作品における女性表象	第6回祥明大学校・熊本県立大学学術フォーラム	2013年6月	於 熊本県立大学
単著	「第五回 大会印象記（韓国・仁川大学校）」（「国際芥川龍之介学会」大会報告）	『芥川龍之介研究』第5, 6合併号	2012年9月	pp175-179
単著	講演「関東大震災—芥川龍之介と東京・両国—」	江戸東京博物館	2012年3月	えどはくカルチャー「芥川龍之介と両国」第五回
その他	文学部シンポジウム「文学は生きているか—断崖に立つ文学研究—」	『熊本県立大学大学院文学研究科論集』第6号	2013年9月	pp.1-44